

第一小学校

1～2年生・3～6年生

教科担任・チーム担任制

Q & A

## <Q&A>

Q：何かあったときの責任の所在がわかりにくくなるのではないか。

A：問題が発生した時には、複数の職員で関わります。その中で、  
第1対応者や最適な教師が責任をもって対応します。

Q：子どもが戸惑うことはないか。

A：これまでと違うシステムなので、最初は戸惑うかもしれません。  
4月からこのシステムに馴染んでいけるように取り組みます。

Q：このような方法で取り組んでいる小学校はあるか。

A：兵庫県稻美町立加古小学校が取り組んでいます。視察に行き、先生や児童に直接意見を聞きました。児童は、授業がわかりやすくなったり、自分が相談したい先生を選べる、などの感想が聞かれました。

また、先生方も、以前より子どもたちの様子を情報交換する時間が増え、児童理解が進んでいる、とのことで、実施するだけの効果があると感じました。チーム担任制は全国規模で効果が認められ、取り入れる学校が増えていきます。

Q：どの学級で取り組むのか。

A：全ての学年でチーム担任制（教科担任制）を行います。児童の発達段階を踏まえ、1、2年生と、3から6年生の2チームに分けて行ければと考えています。

Q：国の施策以上の取組をする必要があるのか。

A：中央教育審議会答申では、「教科担任制」導入の趣旨・目的は、  
①教材研究の深化による、授業の質の向上、②複数教師による多面的な児童理解を通じた児童の心の安定に資する、③小・中学校間の円滑な接続  
④教師の持ち時間数の軽減・授業準備の効率化による学校教育活動の充実、としています。また、その答申の中で、「各地域・学校の実情に応じた取組が可能となるような措置とする必要がある」ともしています。第一小のような小規模校では、子ども大人も人間関係や価値観が固定され、②の、児童の多面的な児童理解や見守りが十分できないと判断し、この取組をすることにしました。

Q：チーム担任制がうまくいかなければどうするか。

A：子どもたちのためになるよう、このチーム担任制のメリットを最大限に生かした取組をしていきます。しかしながら、もしこのシステムが重大な事案を引き起こす要因になり、解決策がない場合は、これまでの固定担任制に戻すことも考えられます。

Q：これまでの学級担任制と同じように、丁寧に見てもらえるのか。

A：複数の教師の目で丁寧に見ていきます。もしご家庭で不安なことがありましたら、遠慮なく学校に伝えてください。

Q：子どもの共通理解はしてもらえるのか。

A：子どもたちの情報を必ず複数の職員で共有して対応します。  
打ち合わせや情報共有を密に行います。

Q：いじめが起きたときは、どのような対応をとるのか。

A：いじめを発見したら、発見した教師が即座に対応します。子どもから相談があったときも、相談を受けた教師が対応します。学級担任制だと担任一人で対応することが多くなっていますが、チーム担任制では全員で対応します。発見後は、これまで通り「いじめ対応チーム」を開き、全職員で対応していきます。

Q：学校を行き済ること（不登校）が心配。そのような時、どんな対応をするのか。

A：行き済りに関しては、まず子どもの思いに寄り添うことが大切。そして要因分析、その軽減に向けた対応になります。家庭からの連絡を受けたら、その時の担任が初期対応にあたり、子どもからの要因を聞きます。それをもとに適任者を決め、以降は適任者が継続して対応に当たります。

Q：「子どもに任せる」ということは、教師が責任を子どもに押し付けようとしているのではないか。

A：子どもたちが、予測困難と言われる未来で幸せに生き抜く力を育むために、教師依存ではなく子どもたちが自ら学び、考え、行動する場面、経験の場を増やす必要があると考えています。決して放任することではありません。学校で起こることの責任は学校にあります。教師は、子どもたちが育つ場面を意図的につくり出し、マネジメントやサポートをしながら、子どもたちの成長のために積極的に関わります。

Q：学級担任は、どんな仕事をするのか。

A：朝や帰りの学活、連絡帳等の点検・対応、給食、家庭学習の調整、欠席や配慮事項を他のチーム担任に周知することなどです。

Q：欠席の時は、誰に連絡をすればよいか。

A：現在、メールシステムで欠席連絡をするよう準備しています。難しい場合は学校に連絡を入れてもらえば、各担任に伝わるようにします。

Q：子どものことで相談したいときは、誰に相談すればよいか。

A：チーム担任のうち誰にでも相談してください。誰に言えばよい  
かわからない場合は、「○年生の担任の先生をお願いします」と伝え  
ていただかずか、「チーム主任（チームリーダー）」を指名していただけ  
ればと思います。

Q：連絡帳に書いたことは、誰が対応するのか。

A：対応してほしい教師があれば、名前を書いてください。ない場合は、  
チーム担任で協議し、対応者を決めていきます。

Q：給食でのアレルギーが心配。給食では誰が責任を持って対応するのか。

A：学級担任が、給食に関しては責任を持って指導します。アレルギーにつ  
いては4月に全職員で確認するほか、アレルギー対応食は個別に給食ト  
レイにも表示をし、おかわりはしない決まりです。

Q：宿題は誰が出すのか、また誰が見るのはか。

A：現在検討中です。

Q：学級担任は、どのようなタイミングで交代するのか。

A：基本1週間。長くて1か月を考えています。学校行事の関係等でその時の最適なタイミングで交代します。

Q：家庭訪問や個別懇談、集団宿泊教室や修学旅行などは、誰が担当するのか。

A：年度当初に協議して担当者を決めます。同じ学年を同じ教師ばかりが担当するのではなく、バランスを考えて検討していきます。